

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせませす。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/国会スポット
- 3面 読者/まんが/乱楽パズル
- 4・5面 離婚後「共同親権」引き続き声をあげて/女性 働く/ホットライン
- 6面 食事情/子育て相談/時事
- 7面 新婦人の活動/「新婦人みらい基金」へのお願い/母の歴史



愛媛・宇和島市 清水和代

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

東京都知事選挙 6月20日告示 7月7日投開票

首都東京から 変えよう 自民党政治



都知事選への立候補を決意し、あいさつする蓮舫参院議員(5月27日、衆院第一議員会館)

「自民党政治を支えている小池都政は終わらせないといけない」「人生最大の決断です」

“反自民・非小池のオール東京で”立候補を表明した蓮舫さん。神宮外苑再開発について「いったん立ち止まるべき」と述べ、48億円の税金をつぎ込んだ都庁舎壁面への映像投影、プロジェクションマッピングなどを批判。「お金の使い方に間違いがあるのであればただ。格差で光が当たらない、困っている人たちに私は政策を届けたい。仕事を食べ物、安心を、子どもたちには教育の充実を届ける」「裏金議員をうんだ自民党が支援する人には絶対に負けられない」と訴えています。

市民と野党の共闘候補

蓮舫さん勝利へ

全国から支援を

都民みんなの願いをかなえる東京都知事選挙(6月20日告示、7月7日投開票)で、市民と野党の共闘候補として蓮舫参院議員(無所属)が立候補を表明。大企業・ゼネコン優先の小池都政と裏金・大軍拡の自民党政治を終わりに、首都東京から変えるチャンスと期待が高まっています。

後、初めて班会を開いた多摩支部やよい班では都知事選の話題でもちきりです。「国も都もお金の使い方がおかしい」「介

護にかかわり栄養士をしているが、福祉の現場で働く人の給与が低すぎる」など国政への怒りが噴出。「首都東京が変われば、自民党政治の痛打になる。候補者も決まったら、がんばろう」と話し合いました。

集まればどこでも 自民党政治に怒りが

裏金問題の解明もせず、政策活動費を合法化する政治資金規正法の改悪で、幕引きをはかろうとする岸田政権と自民党に対して、国民の怒りはおさまりません。4月の衆院3補選(長崎、島根、東京)での野党候補者の勝利に続き、各地の首長選挙でも次つぎ自民党が

推薦する候補者が敗北するなど、「自民党には入れたくない」「政権交代を」の世論と運動がひろがっています。東京都知事選挙に全国から注目があつまるなか、市民と野党の候補者選定委員会が蓮舫さんを擁立することを決定しました。

2期8年の小池都政のもとでも、新婦人東京都本部は18歳までの医療費助成制度や、小中学校の学校給食無償化などを求め運動し、実現してきました。都本部の佐久間千絵会長は、「まだまだ不十分です。東京都の予算規模は一般会計で8兆4530億円、特別会計を含めると16兆5584億

円にもなります。スウェーデンの国家予算並みの財力を持つ東京都が税金の使い方を換えれば、私たちの願いは実現できるし、全国にも大きな影響を与えるのではないのでしょうか」と話します。

都本部は、東京都のシンボル、いちじょうの葉をかたどった要求カードを作成し、会員やまわりの

「都政班会」で 要求を出し合って

女性たちからも集めよう

れんほう 1967年東京生まれ。青山学院大学卒。大学在学中に芸能界デビュー。番組司会や報道キャスターとして活動。2004年、民主党(当時)から出馬し参議院議員選挙(東京選挙区)で初当選。以降3期連続当選。行政刷新担当相、民主党代表代行、民進党代表、立憲民主党代表代行などを歴任。双子の母。



いちじょうの木(タペストリー)を持って、表参道駅で宣伝。一枚一枚の葉には女性たちの願いが(6日、東京都本部)

